

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第4回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成26年10月23日（木） 午後7時00分 ～9時00分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：田中（由）委員、安島委員、田中（富）委員、藤田委員、栗原委員、山岸委員、加園委員、石川委員、後藤委員、庄司委員 高齡・障害担当部長、高齡福祉課長、介護認定・給付グループ主査、管理グループ主査、高齡福祉グループ主査、相談・支援グループ主査、管理グループ主任 日本コンサルタントグループ研究員 欠席者：日高委員 傍聴者：3名
議 題	報告事項1 平成26年度第3回介護保険運営協議会会議結果について 報告事項2 パブリックコメント及び市民説明会の日程について 報告事項3 第六期介護保険事業計画第3章及び第4章の修正について 報告事項4 日常生活圏域ニーズ調査による地域診断結果について 協議事項1 ワークシートによる将来の人口予測及び要介護認定者数の推計について（その2） 協議事項2 第六期における介護給付量及び保険料の試算結果について 協議事項3 その他（次回日程等の事務連絡）
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	開会 会 長：第4回協議会を始める。3名の傍聴者がいる。委員は1名欠席で、定足数に達しているので会議を行う。事務局より報告をお願いする。 【報告事項1 平成26年度第3回介護保険運営協議会会議結果について】 【報告事項2 パブリックコメント及び市民説明会の日程について】 【報告事項3 第六期介護保険事業計画第3章及び第4章の修正について】 【報告事項4 日常生活圏域ニーズ調査による地域診断結果について】 事務局：概要を説明 会 長：事務局説明について質問・意見をお願いする。 会 長：無ければ協議事項に入る。 【協議事項1 ワークシートによる将来の人口予測及び要介護認定者数の推計について（その2）】 事務局：概要を説明 会 長：意見をお願いする。 委 員：長期総合計画の人口フレームから変更するということか。 事務局：そのとおり。人口フレームを作成する補正前の人口でも多すぎるので、直近の住民基本台帳の人口を利用し推計している。なお女性の出産年齢を39歳までとして推計しても、増えるのは幼年人口であ

り、老年人口の推計値は変わらない。
会長：宜しいか。

【協議事項2 第六期における介護給付量及び保険料の試算結果】

会長：意見を願います。

委員：第4段階は本人非課税・世帯課税で負担が大きく助成すべき。平成24年決算では保険料に占める要支援の方は5.1%であり、地域支援事業の1億1600万のうちどれだけ負担しているか。5期の予定収納率は97.82%だったが実際は95%、試算の予定収納率は95.7%としているがよいのか。予定なので落ととしても1%程度では。予定収納率をあげ、地域支援事業へ還元するべきでは。17ページの弾力化した場合の基準保険料は4544円と試算しているが、弾力化すると4953円となっている。今までの決算報告では扶養費は2.5億円であり、弾力化してもよいけれども4544円でやれないわけではないとも考える。

会長：保険料の弾力化の推計についていかがか。

事務局：今回は保険料の試算のため出している資料である。第3、第4段階は現在の割合より高くなっているので意見をうかがいたい。収納率は過去平均値としている。地域支援事業の試算は複雑だが、現在は介護給付費の3%が上限であり、平成29年度からは総合事業に移行するにあたって計算方法のパターンがあるが10%計算としていることと、かつ全部移行できないことを加味した粗い試算である。

委員：全国介護保険都道府県課長会議の資料を事前にみていないと分からない。資料をピックアップし配布すると分かりやすい。区分表などが掲載されている。

会長：公開されている参考資料を配る。今回は資料配布が遅い。数字については変更できるので意見を願います。

委員：現在の保険料率の段階は。

事務局：段階としては12段階。

委員：後期高齢者、低所得者の増加しており細分化は必要。

委員：段階に差をつけることは良いが、保険料をとるための事業をしっかりとやる必要がある。

委員：第4段階の負担が大きい。

事務局：細分化すると、低所得者は低減される。

委員：1～3段階は市民税非課税であり、第4段階は世帯課税であるので第4段階を下げる。

会長：保険料が高いならサービス水準が上がるがバランスを考える。現在は具体的サービスがわからないので判断できない。

委員：区分の分け方は公平だと思う。弾力化もかまわないが、総合事業等サービスをどう構築するかが大切。元気な高齢者の介護予防のため、一般介護予防事業を強化し、認定率を下げる等の取組が必要。適応化事業を具体化すべきである。

会長：本来はこれだけのサービスがあり、これだけの保険料ということ。段階と保険料率の設定は難しいが、特に第4段階、第5段階の線引きを考えねば。

委員：第4段階は再考してほしい。費用はその年度で使いきるのが本来であり、基金を取り崩してでも市民が納得すれば良いので総合事業にしっかりと取り組む。

事務局：総合事業の具体化に取り組む。収納率等試算については何パターンかを示し議論いただく。

	<p>委員：準備基金があるので借上げはしていないのか。</p> <p>委員：一般に保険は痛くないと払えないので、そうならないための予防が大切である。</p> <p>委員：計画で7年もあるのだから予防の取組、適応化事業をしっかりとやるべき。</p> <p>会長：いずれ基金が無くなる事は分かっているので、その後の事を考えると予防事業が重要となり、具体的サービスを検討すべき。</p> <p>会長：収納率及び弾力化の修正をお願いする。</p> <p>委員：収納率1%で2000万円の上下となる。</p> <p>会長：検討資料は数字で見るので早めに提出する。</p> <p>委員：予防事業の主体が無いと言うが、村山団地の地域包括支援センターの情報によれば、自治会・老人会が地域資源となり得る。加入率も4割を超えており、協力しながら予防事業を進める。</p> <p>会長：地域包括システムは住民参加が期待されているので、地域特性に合わせ、参加しやすい、出来ない人も力になるような事業・参加できるものを考える。</p> <p>事務局：緑が丘は見守りネットワークなどの取組が進んでいるので、考えて行きたい。</p> <p>【その他】 次回日程：11月20日（木曜日）</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： _____ 3人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 10px;"></div>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____)</p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部高齢福祉課（内線：632）</p>
--------------	---------------------------

（日本工業規格A列4番）